

科学の森を探検し、ことばの道を見つけよう

～自然から学び、科学的に考え、論理的に伝えよう～

校長 坂本多美枝

本年度、高島小学校は、男女10名ずつ合計20名の1年生を迎えて、児童126名と14名の教職員で出発しました。

本校は、福山市教育支援事業（理科）の指定校（1年目）として、理数教育を中心に取り組んでいます。また、地域の方々の温かい支援を受け、自然（ながの村への宿泊体験・水産教室等）や伝統文化（はね踊り・神楽）に関わる体験活動も活発に行っています。

始業式では、本年度は「挨拶をする・他の人のためにも行動する・家庭学習をする」ことを頑張ろうという話を子どもたちにしました。コミュニケーションの基本である挨拶がさわやかにできる人、自分のためだけでなく他の人のために動く人、家庭学習の習慣を身につけた人になって、自分の夢を実現してほしいと思うからです。挨拶と家庭学習については、向丘中学校区内の3校で、共通の重点取り組みにしました。児童会でも福山一挨拶のできる学校になろうと挨拶運動を活発に行っている最中です。

本年度も、子どもたちに一層のコミュニケーション力を育成するために言語技術を取り入れたことばタイムを続けます。ことばタイムで培った表現力・思考力が、授業や生活の中で生かされて、よりよいコミュニケーションにつながることをねらっています。また、学校生活のさまざまな場面で、自分のよさを生かし友達のよさを認めることができるよう関わり合う活動に力を入れます。科学の森を探検する子どもたちが、ことばで考え判断し表現する道を、お互いに関わり合って見つけ出すよう指導していきたいと考えます。

このように学ぶ保護者と支援して下さる地域の方々とつながり、子どもの力をもっと伸ばし、よりよい集団を作ることができるよう、私たち教職員も学び続ける人でありたいと思います。

3月11日の東日本大震災は、多くの人命と財産を奪い、原子力発電所の破損をもたらしました。水や電気、食料のない苦しい生活の中で、同じ小学生が、教職員が他の人のために動く姿を報道で見ると、この災害から学ばなければ、学んで必ず生かさなければと思います。私たちが今できることは何か、各クラスで話し合い、行動しようとしています。